

デジタル学習基盤を前提とした授業改善研修（第5回）

デジタル学習基盤を前提とした1人1台端末環境下における授業改善に必要な知識等を身に付けることを目的として、標記研修を実施しました。

- 1 対 象 県立学校・市立高等学校・市立特別支援学校の希望者
- 2 受 講 者 37名
- 3 日 時 令和8年7月28日（火）16:00～16:50
- 4 形 式 オンライン
- 5 講 師 県教育庁高校教育課教育情報化推進室 副参事 伊藤稔文
県教育庁高校教育課 指導主事（主任）大久保達也
- 6 研修内容
テーマ『高等学校「国語科」におけるデジタル学習基盤を前提とした授業改善』
 - （1）授業で大切にしてきたこと
 - （2）デジタル学習基盤活用の実践例
 - （3）生徒の反応・変容
 - （4）授業改善の出発点

The screenshot shows a Zoom meeting in progress. The top status bar indicates the time is 16:23 and the meeting ID is why-twbc-wxt. A notification says '(画面を共有してアノテーションを付加しています)' (Sharing screen and adding annotations). The main content area displays a presentation slide with the following text:

- 出発点は「あんなこといいな、できたらいいな」
- ・△デジタル学習基盤の自己目的化
- ・◎授業改善のマインド
「◇◇の力をつけるために、△△がしたい」
- ・デジタルの得意分野
 - ★すぐに全員の考えを集めて共有できる
 - 思考の鮮度を落とさない
 - ★音声や映像の保存ができる
 - 「話すこと」の成果の保存が容易に

A callout bubble next to the slide says: 「これを実現させるためのデジタル」 (Digital for realizing this).

On the right, there are thumbnails of participants. One thumbnail shows a man with glasses, labeled '大久保達也' (Tatsuya Okubo). Another thumbnail shows a group of people, labeled '他 31 人' (Others 31 people). The bottom toolbar contains various Zoom controls like mute, video, chat, and a red end call button.